

2018年4月22日(日) ムギイカ 豊漁丸

小潮:旧3月7日 干潮10:35 21cm 満潮17:36 28cm 干潮 翌日02:14 6cm (敦賀港)

ムギイカ 真史: 3 2杯 ツレ: 1 8杯

サバ 真史: 1尾 ツレ: 3尾

15時20分 現地着

16時00分 受付・釣り座抽選

16時30分 出船 釣り場まで1時間

17時30分 釣り開始 パラシュート釣り

17時36分 満潮28cm(敦賀港)

18時35分 日没

20時30分 釣れ始める

23時50分 減灯開始

24時00分 納竿

01時00分 港着

01時20分 帰路

【ムギイカ仕掛け】 2018年4月5日作製のもの

幹糸4号、枝間1.2m、上糸1.2m、

下糸「90cm4号+30cm3号:結び目には透明パイプを通す」

上から

ツレ用

プラヅノ透明

浮きスッテ2.5号赤白

プラヅノ透明ピンク

浮きスッテ2.5号赤緑

プラヅノ透明

真史用

プラヅノ透明

魚形プラヅノ水色

プラヅノ透明ピンク

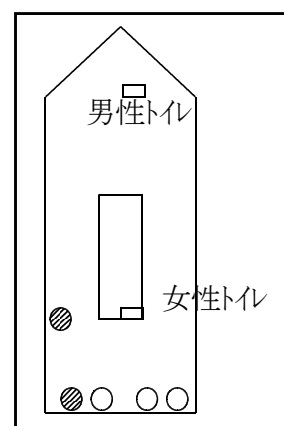
浮きスッテ2.5号赤緑

魚形プラヅノ透明

水中ライト、おもり100号、80号、60号

「水深120m 棚30m~50m おもり80号、底でやる人は100号」:アナウンス

日没前は底だから、100号でスタート。日没後の上の棚では60号で実施。真史はフグにパイプの下で糸を切られ、おもりをロストしたことから80号に変更。



【料金】

○船代 ¥11,000×2名 (氷付き)

【様子】

○豊漁丸でムギイカが始まった。HPで少し釣れていたので行くことにした。

○晴れ、風なし。

○「水深120m 棚30m~50m おもり80号、底でやる人は100号」とアナウンス。日没前は底だから、100号でスタート。重いので日没後に上の棚でやるときには80号でやるべきところ、仕掛けが横に流されていかないので、60号と判断し、ツレも自分もこれで行った。途中、自分はフグにパイプの下で糸を切られ、おもりをロストした。80号に変更した。

○日没前、ツレがキャッチでゲットした。ダブルだった。

○船上のライトが照らされた。「もう少ししたら、明かりが効いてくるから50mから30mまでを誘っ

てください」とアナウンスがあった。

- しかし、さっぱり釣れない。周りも釣れていない。
- 名人が釣ったと聞いたので、釣り方を見に行った。60mまで落として、つらつらと巻き上げ、ときどき止めている。名人の隣の人も釣っていた。どこで釣っているのかと尋ねたら、「50mから30mまでを巻き上げている」とのこと。つまり、アナウンス通りであった。
- 60mから巻き上げることにした。ツレが「掛かった。36m。」と言いに来た。同時に、自分も36mで掛かった。46mで掛かった。ツレは48mとのこと。
- 釣れだした。8時30分ごろだった。
- 26mでも当たった。ダブルだ。ツレは63mと言っている。
- 70mから20mまでを探ることにした。
- 50mで連続したので、55mから探ることにした。入れ掛かりに近い。しかし、当たりが止まった。もう一度70mから探ることにした。65mくらいで入れ掛かりに近い。
- ダブル狙いで、当たりがあったら、そのまま5mくらい巻き上げた。結局、ばれてしまった。活性が低い、イカが少ないことから一杯ずつ狙うのが正解だ。
- 当たりがある。少し待って確実に掛かっていることを確認してから巻き上げた。これでダブルの時もあった。
- 誘い方を確立しようと考えた。
- スルメ釣りのTV番組で、昔は大きく竿を振り上げて釣っていたが、最近は少ししゃくだけと言っていたのを思い出した。
- キス釣りでも誘いすぎは良くないときがある。
- 今日はイカが少なし。多ければ我先にと活性も高いであろうが、少なければ活性もあまり高くはないはず。それなら誘いすぎないこととと考えた。
- 次のパターンで入れ掛かりとなった。

- ① 下の棚まで落とす。
- ② 竿は水平から30° 下げる。(これをホームポジションとする。)
- ③ スピード10で巻き上げる。
- ④ 竿を水平まで1回だけしゃくり、ホームポジションに戻す。
- ⑤ 糸が1.5m~2m巻き上がるのを待つ。この時、当たりがある。
- ⑥ 当たりがなければ、③④を繰り返す。

※おもり60号でお80号でも同じだった。

※ダイワ シーボーグ300J スピード10 イカが乗った時の回収スピード 15~17

シマノ 電動丸3000XH スピード4 イカが乗った時の回収スピード 14

回収スピードが速すぎて足だけ残っているということがあった。

【ヒットしたツノ・スツテ】

真史：一番上のツノ、浮きスツテにはあまり掛からなかった。一番下、真ん中がよく掛かった。

×プラヅノ透明 ×浮きスツテ2.5号赤緑 ○魚形プラヅノ透明 ○プラヅノ透明ピンク

ツレ：一番上とまん中はあまり掛からなかった。

×プラヅノ透明 ×プラヅノ透明ピンク

- 一番上は掛かりにくいようだ。しかし、ゼロではない。
- 魚形か否かは釣果に影響はなさそうだ。

【ツレのヒットパターン】

- 後半は、キャッチが多かった。

仕掛けが当たりそうな棚に来たら、(今日は40m～70m)

- ① 手でブレーキを掛けながら5m落とす。
- ② 次に5秒ぐらい待つ。この時、当たりがある。